

●深草・瀬田キャンパス共通の活動紹介①

◆オリエンテーション合宿（詳しくはP98～99）



新しく入った学生スタッフが、センターの目的や学生スタッフの役割を理解し活動するために、深草・瀬田の学生スタッフと教職員が集まって、毎年合宿を行っています。総勢 114 名が集結！「学スタツムツム！！～集めてなぞってつなげよう～」をテーマに実施し、熱気あふれる2日間となりました。

◆ボランティア入門講座（詳しくはP92～94）

5～6月にボランティア初心者向けの、体験活動を伴う全3回連続の講座を実施しています。第2回目の「ボランティアを体験してみよう」では、7箇所に分かれて97名がボランティアを体験しました。



◆ボランティアリーダー養成講座（詳しくはP95～96）

ボランティアやサークル活動などを行っている学生を対象にスキルアップ講座を年2回実施しています。第1回は8月に金 香百合氏（HEAL ホリスティック教育実践研究所）を講師に迎え、「グループ運営の秘訣～お互いにとってOKな活動にするには!?～」というテーマで、63名の学生・職員が学びました。第2回は2月に三木俊和氏（伏見いきいき市民活動センター長）を講師に迎え、「チームの段取り力を鍛える！～思いを形にし、実現させるための方法～」というテーマで42名の学生・職員が学びました。



●深草キャンパスでの活動紹介

◆サマーフェスティバル 2017 (詳しくはP44~45)

キャンパスの近くにある深草児童館で、子ども達と夏休みの一日を楽しく過ごすイベントを開催しました。この活動を通じて、児童館の役割や、地域で育つ子どもについて考えることができました。



◆南区民ふれあいまつり

(詳しくはP53~54)

歴史ある東寺で行われた南区民ふれあいまつりのちびっこひろばにブース出展しました。たくさん子ども達がブースを訪れ、ブロック崩しゲーム、万華鏡・モールアクセサリー作りを楽しみました。

◆アタックボラセン (詳しくはP30~31)

センターの認知度向上、学生へのアプローチ強化のため、学生スタッフがキャンパス内で実際にコーディネートとセンターの広報を行いました。センターに来たことがなかった学生にもセンターの活用方法と場所を知ってもらえ、利用者拡大につながりました。



◆生きるぼくら～ボランティアから共生を見つめる～ (詳しくはP39~41)

「考えよう、心のバリアフリー」(講演会と座談会)、ボランティア体験ツアー、ふりかえり座談会を行いました。自閉症、知的障がいのある方々や保護者と関わって、多くのことを学ぶことができました。



◆合宿（詳しくはP100～101、103～104）

学生スタッフの成長、資質向上を目的に長期休みに1泊2日の合宿を行っています。大阪市立長居ユースホステルで行った夏合宿は49名が参加、ともいき荘で行った春合宿には38名が参加し、活動のふり返りや今後の目標、組織運営について活発に話し合いました。



◆龍谷祭（詳しくはP32～33）

深草キャンパスで行われた龍谷祭で、展示と模擬店を出しました。展示では691名の来場者にセンターの活動を紹介することができ、活動の一端を知っていただくことができました。多数の来場者のある龍谷祭は、学生スタッフの活動をアピールする良い機会となっています。



◆STAR (Save The Animal from Ryukoku) プレゼンツ step2・3

共生～動物にとっては強制？

人間にとっては共生？

(詳しくはP37～39)

「殺処分は仕方がないことなのか」「今、共生できているか」などのテーマをもとに座談会を行い、その後、動物愛護団体と京都動物愛護センターの見学を行いました。



●瀬田キャンパスでの活動紹介

◆スポーツ × ボランティア=笑顔！ スペシャルオリンピックスを知ろう

(詳しくはP52～53)

知的障がい者と健常者が垣根なくスポーツを楽しむ企画を学生達が考え、約80名が運動会を楽しみました。龍大生にスペシャルオリンピックスの存在を知ってもらおう機会となりました。



◆Let's ボランティア ～ボランティアしようよ♪～

(詳しくはP27～29)

5月・7月・10月に、樹心館前で「Let's ボランティア～ボランティアしようよ♪～」を実施し、センター事業や地域での活動紹介などを行いました。12月は「ボラセン喫茶」をオープンし、温かい飲み物を飲みながらコーディネートを行いました。

◆大津祭へのボランティア協力 (詳しくはP46～47)

大津祭の宵宮が10月7日(土)、本祭が8日(日)に行われ、両日合わせて延べ44名の本学学生がボランティアに参加しました。特定非営利活動法人大津祭曳山連盟と連携して、地域の方々と一緒に伝統行事を支えることが出来ました。





◆龍谷祭 (詳しくはP34~35)

零から始めるボランティア
 ~下から見るか?横から見るか?~

展示では、学生スタッフの活動の紹介や登録サークルが行ったボランティア活動紹介、災害ボランティア、リキャップ活動等を紹介し、ボランティアの多様性や魅力を感じてもらいました。

模擬店では「揚げたい焼き」を販売しました。



◆コミュニティ企画

広げよう! 瀬田コミュニティの輪
 (詳しくはP55~56)

本学学生と地域住民に「地域でのつながりの大切さ」に気づいてもらうことを目的に、龍谷大学瀬田キャンパスに隣接する「滋賀県営都市公園びわこ文化公園」で開催されたイベント「防災・減災そなえパークの日」に30名が参加し、防災啓発のブース運営と展示を行いました。



●深草・瀬田キャンパス共通の活動紹介②

◆海外体験学習プログラム (詳しくはP77~90)



夏期・春期の長期休暇中に、海外でのボランティア等に関心のある本学学生に向けて、貧困・福祉・環境問題など様々な課題を抱える国を訪れ、その現状に触れながら現地の NPO・NGO などとの交流を通じて体験的に学ぶプログラムを実施しています。写真は、春の海外体験学習プログラムで行ったフィリピンでの様子です。

◆国内体験学習プログラム

(詳しくはP65~74)

夏期・春期の長期休暇中に、国内のさまざまな地域の住民、NPO 等との交流を通じて、地域の抱える問題に触れると共に、ボランティア等の体験学習を通じてより深く社会の問題について考えるきっかけを作るプログラムを行っています。写真は、春の国内体験学習プログラムで行った福島、滋賀県・高島での様子です。



◆サークル活動情報交換会&サークルのボランティア活動 (詳しくはP42~43)

センターでは、ボランティアサークルやパフォーマンス系サークルの特技を活かしたボランティア活動のコーディネートを行っています。あわせてサークル同士のネットワークづくりやサークルの活動に役立つ情報の提供を行うことを目指し、ボランティア活動&サークル活動情報交換会を年5回開催しています。



●深草・瀬田キャンパス共通の活動紹介③

◆日常のボランティアコーディネート（詳しくはP17～19）

ボランティアを探しに来室した学生から話を聞き、みなさんの思いに沿ったボランティアを紹介しています。



◆学生スタッフミーティング（日常のミーティングの様子）

深草、瀬田キャンパスでは各々で毎週ミーティングを行い、学生企画についての議論や、スキルアップのためのワークショップを行っています。



◆ボランティア・NPO 活動センター会議

月1回、深草、瀬田両キャンパスの学生スタッフと、教職員が集まって、企画書の検討、事業の報告などを行っています。



●東日本大震災復興支援に関する取り組み

東日本大震災発災以降、龍谷大学では毎年、復興支援ボランティアの活動を宮城県石巻市雄勝町で行っています。また、学内で東日本大震災に関する啓発活動など、復興支援に関する取組を実施してきました。第1・2回共に防災学習を受講すると共に、地元の人から震災当時のお話を聴く機会も設けています。また、雄勝ローズファクトリーガーデンの整備のお手伝いも行っています。

◆第1回 東日本大震災復興支援ボランティア（石巻市 雄勝町）

雄勝湾灯籠流しの手伝いを中心に活動しました。

（詳しくはP8～10）



防災教育：大川小学校を訪ねて



防災教育：旧雄勝小学校の裏山を津波到達点まで登る



灯籠作り①



灯籠作り②



灯籠作り③



雄勝ローズファクトリーガーデンでの活動。
雨の中での作業になりました。

◆第2回 東日本大震災復興支援ボランティア(石巻市 雄勝町)

(詳しくはP10~11)

「雄勝小・中学併設校の大運動会」 & 「おがつスポレクまつり」のお手伝いを中心に活動しました。



防災教育：大川小学校を訪ねて



防災教育：旧雄勝小学校の裏山から降りてくるところ



運動会：玉入れ競争の準備



運動会：愛の献血リレー



活動終了後、雄勝支所の方から震災当時の話を聴く



雄勝ローズファクトリーガーデンでの活動

●その他復興支援の取組

(詳しくはP12～13)

～復興支援ボランティア活動終了後の報告会。復興支援ボランティアに参加した学生が想いを伝えました。



第1回報告会①



第1回報告会②



第2回報告会①



第2回報告会②



東日本大震災追悼法要
復興支援ボランティアの活動報告
深草・顕真館にて



東日本大震災追悼法要
復興支援ボランティアの活動報告
瀬田・樹心館にて